

平成 26 年 3 月 29 日

# 小学校・中学校の 現状と課題（報告書）



OVA

沖縄県バレーボール協会 指導普及強化委員会

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

|                      |        |      |
|----------------------|--------|------|
| 1. 出締め               | ・・・・・・ | P 1  |
| 2. 小学校の現状と課題         | ・・・・・・ | P 2  |
| 3. 中学校の現状と課題         | ・・・・・・ | P 4  |
| 4. 小中学校における校務の改善について | ・・・・・・ | P 5  |
| 5. 会議の議事録            | ・・・・・・ | P 7  |
| 6. 本県過去10年間の推移（データ）  | ・・・・・・ | P 21 |

第1回 沖縄県バレーボール協会  
小・中合同普及強化委員会  
<資料>

文責

沖縄県小学生バレーボール連盟  
理事長 西俣

<小連の実態 (=課題) >

1. 普及に関して

(1) 登録団体数

- 男子38チーム、女子126チーム、計164チーム（平成25年度）  
※全体的には横ばい状態であるが、減少傾向にある。特にその傾向は男子の  
顕著で、危機的状況である。

(2) 登録選手数

- 男子446人、女子2221人、計2667人（平成25年度）  
※この数年との比較していないので、確かなことは言えないが、試合に出  
場する5・6年生のみの登録をしているチームが多いと思うので、実数は  
この数よりは上回ると思われる。

<減少の原因>

- 野球やサッカーに比較して、スター選手が少なく、子ども達のあこがれや夢・  
目標になっていないこと。
- 少子化も大きな要因だと思われる。
- 指導者の減少も要因かも知れない。
- 女子サッカーの人気で明らかのように、多種多様なスポーツの普及してきたこ  
とと、その分野に女子の参加が目立ってきた。

(3) 小連の取組

- ①「ソフトバレー大会」「3・4年生大会」の実施
- ②本土チームとの交流大会の実施

(4) 小連の課題

- ①日小連の提案する学校現場での「バレーの研修授業」の実施ができない。
- ②ソフトバレー大会への参加を学校側に公文を出しているが、参加が極端  
に少ない。  
※体育教材の完全実施となっているが、現実の現場では、100%実施されて  
いるのか疑問。

## 2. 強化について

### (1) 小連の取組

#### ①派遣代表チームの強化リーグ

○小連主催で、その年度の県代表チーム（男女 計 10チーム前後）を集め  
て、2・3回の強化リーグを開催している。

#### ②本土各県との「交流大会」への参加

○スポーツ少年団県大会の男子2チームを、「北海道・沖縄小学生バレーボ  
ール交流大会」へ参加させている。

③各地区では、普及と強化の目的で、九州各県（宮崎県・熊本県・佐賀県）との  
交流大会が盛んに行われている。

#### <中頭地区>

○熊本・沖縄小学生バレーボール交流の翼

○ジュニアオールスターバレーボールフェスタ IN 佐賀

#### <那覇地区>

○姉妹都市の日南市とのバレーボール交流

#### <南部地区>

○「かぐら面争奪小学生バレーボール大会 IN 宮崎」

#### ④選抜大会の実施（第9回まで）

※協会の指示（インターハイ強化の趣旨が終えたこと、予算の削減 等）で、  
昨年度から廃止された。

○この数年、全国大会や九州大会での成績を見ると、優勝こそ逃しているが、  
肩を並べて互角以上に戦えるようになってきたように思うので、強化に關  
する「課題」だといえるような事柄は、小連でも確認はしていない。

# 小中連携の指導普及強化委員会

## 中学校の現状と課題

### 男 子

#### 現状

- ・バレー人口が減少しているため、6名ぎりぎりのチームや合同チームが増えている。そのため大会で辞退するチームが増加している。(数名が熱発すると選手6名が揃わない)
- ・チーム数も減少している。
- ・男子バレーボール部では、バレー専門の指導者も減少している。

#### 課題

- ・将来男性の指導者が減ることが予想される。どのようにして男性指導者を増やしていくか?
- ・中学校でバレーをやりたくてもバレーボール部がない。那覇市では、学校選択制のため首里中のよう一極集中してしまうことがある。

### 女 子

#### 現状

- ・バレー人口は男子のように減少していないが、人数が多いチームでは、ベンチに入れなかつたり、出場の機会が少なく、辞めていくことがある。

#### 課題

- ・サブメンバーの出場の機会  
(地区や市での大会では、Bチームも出場できる大会を行っているところもある)

### その他

- ・職員の多忙化、学力向上の問題

※別紙

| 教育長 | 部長 | 課長事 | 指導主事 | 係長 | 担当者 |
|-----|----|-----|------|----|-----|
|     |    |     |      |    |     |

教義第10512号  
平成25年12月13日

市町村教育委員会教育長  
各教育事務所長

殿殿



沖縄県教育委員会  
教育長 諸見里 明  
(公印省略)

### 沖縄県公立小中学校における校務の改善について（依頼）

日ごろから本県教育施策の推進に御理解を賜り感謝申し上げます。  
さて、社会が大きな変革の時代を迎えており、学校を取り巻く環境も変化しており、教職員が子どもとじっくり向き合う時間を確保することが難しい状況となっております。

平成20年12月に実施した調査によると、県内公立小中学校教職員の約4人に3人の割合で勤務時間内の業務量が多いと感じており、また2人に1人が勤務日に平均2時間以上の時間外勤務を行っているという状況が示されています。

このような状況に加え、本県においては、確かな学力の定着や深夜はいかいをはじめとする問題行動等課題も多く、本県の教育環境を改善するという観点からも教職員の校務の改善が喫緊の課題となっております。

沖縄県教育委員会においては、公立小中学校教職員の職場環境を改善すべく「沖縄県公立小中学校校務改善検討委員会」で協議を重ね、別添のとおり改善及び提言としてまとめました。

これら改善及び提言は教職員の職場環境の改善のみならず、子どもたちの教育環境の改善にも資するものと考えております。

小中学校の管理・運営は市町村教育委員会又は各学校の権限に属するものであります  
が、各教育委員会におかれましては、提言内容について検討のうえ、貴管下小中学校とも  
連携し校務改善に配慮するようお願いします。

各教育事務所においては、このことについて御理解のうえ、御指導をお願いします。

## V 部活動について

部活動については、次のとおり行うこととする。

### (1) 中学校の部活動について

- ア 平日の練習時間は2時間以内とし、生徒は午後6時30分（冬は日没前）までには完全下校させる。
- イ 毎週土・日のいずれか及び毎月第3日曜日の「家庭の日」は休養日とする。  
なお、対外試合等で休養日にできない場合は、月曜日を休養日とする。
- ウ 中間・期末・実力テストの前1週間は部活動を停止する。
- エ 対外試合については、過度な活動を避けるため、市町村教育委員会において、各学校が参加できる試合数に限度を設ける等の措置を講ずる。
- オ その他事項については、沖縄県中学校体育連盟通知「沖縄県中学校の部活動について」（平成14年3月18日 沖中体連発第307号）を遵守する。

## VI その他、学校・教職員を取り巻く行事等について

学校行事等については、次のとおり行うこととする。

### (1) 地域・自治体関連行事

地域活動については、学校教育としての範囲を考慮し、児童生徒や教職員の負担過重とならないようとする。

### (2) 団体・企業実施のコンクールへの応募

児童生徒に活躍の機会を与える趣旨から、広く参加、募集の情報提供を行う一方、強制はせず、児童生徒の主体的な判断を尊重する。

また、コンクールに応募する場合でも、授業の延長として指導できる程度に止め、特別な取組は行わない。

### (3) 地区陸上競技大会

大会に向けた練習については、部活動との均衡も含め、教職員及び生徒の負担過重にならないよう取り組む。

### (4) 小学校のスポーツ少年団等の活動について

ア 平日の練習時間は2時間以内とし、児童は午後6時30分（冬は日没前）までには完全下校させる。

イ 毎週土・日のいずれか及び毎月第3日曜日の「家庭の日」は休養日とする。

なお、対外試合等で休養日にできない場合は、月曜日を休養日とする。

## 議事録

### ◆小学校の報告

○中頭地区において徳洲会カップ徳洲会の方たちのご好意で記念大会をやっていただいている。バレー ボールの教室をやって頂いている。普及の一環としてやっている  
小学校の課題

○バレー ボールの研究授業が数年実施できない。呼びかけてもなかなか実現しない  
少年の理事会に前会長（玉城会長）の方からも教材完全実施になるので市町村、教育委員会  
開催してでもやってほしい、自分たちも一緒にやるといってあるけれどその提案に答える  
ことができていない。

○ソフトバレー ボール大会への参加を中頭地区には各学校側に公文を出しているが、参加  
が極端に少ない。

中頭地区が教育委員会から学校側のチームとクラブチームへ参加依頼を出しているが  
2年前は一番多くて4チームでした。しかも参加チームはクラブバレー ボール指導の先生  
の学校の子供の参加だった。学校現場からのソフトバレー ボールの参加は少ない。

○体育教材の完全実施となっているが現実現場では、100%実施されていないのではないか

ハード面も精神的面も含めて、以外とやっていないんじゃないかな。あくまで予想。

### ○強化について

小連では大会の代表が決まった時点で派遣の前に5、6年前からチームを集めて、離島は参  
加できていないが強化リーグをやっている。2、3回できている。

### ○本土、各県との交流大会の参加

各地区の取り組み25年度瑞慶覧会長の思いで、少年男子は派遣はなかったが北海道と沖  
縄県の交流が今年からはじまった。普及と強化を兼ねている。

○各地区で少年とは直接繋がっていないですが、それぞれの地区で主体的に普及、強化目的  
で宮崎、熊本、佐賀との九州各県との交流会がされている。例では中頭なんかは2年前から  
熊本と交流をしに行っている。福岡も来てほしいけど難しい。

○ジュニアオールスター代表選抜が佐賀であり、6年生を送り出している。

那覇地区、市をあげて那覇地区の連盟と合同で毎年外部の交流が行ったり来たりしている。

○南部地区でかぐら面争奪小学生バレー ボール大会ってことで宮崎でたかちよの方でもか

なり長い間各地区で盛んに行われている。

#### ○選抜大会

強化という意味で選抜大会のなかで意識してやったんですが、9年前に…協会から直々にいらして、3年生大会と選抜大会をやれってことで、インターハイ強化の目的が趣旨だったので始めたんですがいい大会ということでやっていたが、インターハイ強化の趣旨が消えたってことと、予算が10万程度、協会からもらっていたあげることができないってなつて、2つの理由で昨年度からなくなつた。これが強化についてのこれまでの取り組み。

○この数年、全国大会や九州大会での成績を見ると、優勝こそ逃しているが印象としては、かたを並べて互角に戦えるようになってきたように思える。9年前のさらうまがベスト入り九州大会、2年前の古堅南が準優勝、九州で勝てなかつたが、勝てるようになってきたと思うので、強化に関しては課題っていう感じはしません。が、普及に関してはかなり課題だと思っている。

全国ではどのくらいですか？九州だけですか。

去年は予選2勝 1勝。全敗でことがなくなっている。

姉妹都市交流では、かぐら杯っていうのがあるんですけど、たかちよ町で1月に行われるんですが、豊見城市がたかちよ町と姉妹都市交流。初回から姉妹都市交流しています。20年一番初めては豊見城市なんですけどしている。各年、交代交代で受け入れる。5~6年が対象。全員がバレーボールやっている子はすべて行く。それをやることで、他の県にも大会で自分が沖縄県の代表としてのこしていくっていう両方やっています。費用はですね、教育部、教育委員会から出して、百万ぐらいでますので出るぎしと、それから余ったお金を子供達に頭数でわけて、一万から一万五千円ぐらい補助がでます。個人負担としては二万からそれのくらいで行ける。二泊三日。あと、かぐら杯はあそこから呼びかけがあつて、たかちよ町でやっている。九州の宮崎県を中心に近隣の小校、近隣関係から呼びかけているんですけど「沖縄から参加しませんか」と私にきているが、豊見城市は姉妹交流でお金を使っているので、行けないけど、他の地区から行ってもいいですか。としたところ…から1チーム中頭から2チーム。

#### ○今的小連の…ですね

中・高では考えられないことだと思いますが、小学生のスポーツはどうどうと男女差別があります。

それはさつきも言ってました。ファミマの大会で男女とも4チーム派遣があります。で、女子の監督さん…、これに敗れればこの4つを省いたチームで残りのチームでスポーツ大会をやります。そのスポーツ大会で優勝したチームは3月に行われる全国大会に派遣があり

ます。で、2チームは九州ブロック大会があります。これは8月ですね。

これに対して、男子は派遣はゼロです。8年。で、今言ったように、8年に一回九州ブロックの代表1これのための九州予選ができないので、九州輪番制ということで、8年に一回だけ九州大会が回ってきます。これを、どうにか、九州大会をやってくれとお願いしたんですけども体協の返事はですね九州各県で男子のチームが少ないので、九州大会は成立しないと。我々がやっている九州小学生大会は、あんなに男女チームがあるのに何で?ってなっている。スポーツ少年団の組織原…があるのかなと思う。しばらく待ってみて、どうにかい方向にむくかなと思ったら、沖縄の体協さんもスポーツ…九州派遣さんの…女子サッカーが派遣の対象に選ばれました。男子バレーが派遣の対象が復活が出てくることはないな、と今年次年度投手に我々小連で決議しまして、男子のスポーツ大会の優勝、準優勝チームをどこか県外に送ろうってやって、もう体協がやるのを待つのをやめようしよう。今の実態。さっきも出ていた、北海道沖縄交流で2チームはスポーツ少年団の優勝、準優勝チームです。

課題なんですが、中学校とともにでてますけど、県教育員の学歴問題にからめた部活の矛盾というものをですね、とても肌で感じている。学校現場にいるので、中学校は最近出ているか分かりませんが、我々もそれを感じていて、校長も教頭も学校現場の対応もけっこうきびしくなっている。

小連では、学校現場のバレーボールの我々の傘下のチームの子供達の練習時間とか、内容含めてですね、アンケートを取ってみようということで、今度理事会にかけて、アンケートを実施する。

#### ◆中学校の報告

##### ○中学校の現状 男女とわけて

男子のバレー人口が減少しています。今大会も6名ぎりぎり、7名とかっていうチームが多くた。合同チームなども。そのため、この冬の難関インフルエンザや風邪などで一人かけただけでも辞退しないといけない。

練習試合等でも、相手チークから借りたりなどがある。チーム数の減少。

それから、男子バレー部で、バレーを専門としている指導者ですね、減少している。

##### ○課題としては、

将来男性の指導者が減ることが予想されているので、どのようにして男性指導者を増やしていくか。

中学校でバレーをやりたくても、生徒の行く学校にバレー部がない。那覇市では、学校選択ができるため、首里中のように一極集中してしまうことがある。

人数が少ないので6名そろって中学校に上がってくれば、中学校でも部活を作つて指導できる。合同チームってなるとなかなか顧問をつけないといけないってのが中々できない。

○女子の方はまだそこまでですね、バレーボール人口は男子と比べると減少していない、ただ人数が逆に多すぎて、ベンチに入れない。また、どうせレギュラーとれないんだろうと予想してそれに先だって、小学校バレーボールやっていたけど、中学校では他の部に入ろうかなと、そういう選手が増えている。そういう子達にまたバレーボールをさせたいと思っている。

各地区とか、市町村では取り組んでいるんですけども、Bチームがでれる大会を。2チーム、3チームを一つの学校から出したり、また、地区によっては、ベンチ入り15名できる。18名登録しているなかから試合ごとに12名。と、いろいろ工夫しながら取り組んでいる。あとですね、中学校の先生方、監督が、時数が増えて、父兄の方から部活時間数短くしてください。大会数が…とあるようです。

部活がやりづらい状況が。

平日忙しくて先生方が部活に顔出せたりすることができない。

あと、学力向上。課題が多い。2年生は3年生の4月にある学力テストにむけて取り組んでいたり、小学校では、春休みに補習を行う。中学校もやらないといけないんじゃないのかと、話がある。

### ○強化の面

小連さんのような各地区で県外へではないんですが、今各チームで自腹をきって合宿等に行ったりしている所はあります。

ただ、男子の取り組みとして、今、5月、11月に鹿児島、中でもさらに島の子たちとの交流。5月は沖縄から島の方に行っている。11月は向こうから来てもらって、今6年ぐらい続いている。これもどのチームも、行かせるか、来もらうかとか、長い付き合いの中で、続いている仲なので、保護者の理解と監督の情熱がなければ続かない。

5月に福岡の方で、各県から集まって合宿があって、沖縄から2チームお願いしますということで、枠があって、これもまた、どこが出場するか。基本的に補助がないスポーツ大会なので、保護者の理解とまた、情熱がなければ。

こういう状況で、今、実際派遣が補助がある大会はなし。九州と夏の中体連の九州大会と全国。で今これだけ。今、日本協会のU14のほうが唯一ですね。一位二位しか行けないので広く強化できていないんじゃないかな。

### ◆高校では、

年末の25日から28の4日間視察と応援に行ってきました。

参加チームは大阪が開催地で、2チームの出場で計48チームの出場でした。

僕も初めて参加して非常に刺激を受けた。考え方が当然あると思うんですけど、沖縄の子たちには可能性があるのかなと思いました。国内大会でも沖縄の子達が何かできないのかなと感じましたが、ただ何ができるのかと考えると、自分自身も分からぬ

それから、女子選手で石垣の選手が県外の高校に進学すると言う話をきいております。沖縄の子達が活躍するという意味では悪いことではないんですけど、できたら県内の高校に進学した方がいいですね。

女子はグループ戦で敗退で長野県と対戦しました。

長野県は身長はないんですが今回準優勝しました。沖縄とはサイズ的にはそんな差がないです。沖縄も可能性があるかな～と。それから男子もですね、予選グループ2勝して福井県と対戦して敗れたんですけど、十分可能性があるかなと感じました。

特に男子しか見てなかった部分もありますけれどもできない子達がJOCを通じて本当に成長していく姿を四ヶ月ぐらいみれたので非常に可能性があるかなというふうに感じました。

○それから、本県のバレーボールの現状ということで、実際にどうなっているのかなど、感覚的にはお持ちだと思うんですが、四ヶ月ぐらいかけて調べてみました。

まだまだ調べてる途中でこれがすべてのデータではないんですが

それで、一応元のデータを今どこから探すかってことで非常に大変で、小学校の場合はこの小連の全国大会の報告書、ずけらん先生がお持ちでしたので、これ毎年報告書が送られてきます。そこからデータを抽出しました。

中学校は、全国中体連というホームページがございます。そこから拾って抽出しました。

高校は沖縄県高体連田里事務局長をされてますで、県高体連のデータから抽出しました。

データの説明→ それからチーム数ですね。これ選手数です。上が女子。男子は下降気味ですが女子の数字が10年前に比べると、人口が減っています。ただ、これが本当に関係あるかどうか分からぬので、今は良いか悪いかとか判断じゃなくて、一つの指標として見て頂きたい。で、男子も約半分ですね。これは高校ですね。高校も男子がやはりこの4～5年前から急激に減ってきたと、それで、高校は私も所属していますので、場合によっては44チームですけど、大会によって40チーム切ることもあったと思います。37・38チームとかですね。かなり厳しい。

選手数ですが男女共に人口が減っている。特に当然男子は予測できるんですけど、女子がかなりの数で減っているデータになっている。

今は県内でのバレーボール人口の説明でした。次は県内で、ハンドボールとバレーボール。男子の選手数が6年ぐらい前から逆転現象。

それで現状っていいますと、普通高校でハンドボールも室内で練習するので、練習割り振りが多くなって時間が減ってきてる。当然他の種目もバドミントンなども調べてみたら、分かるんですけど、一つの指標としてとらえて頂ければ良いかなと思います。

それで、今後もう少し掘り下げていく必要があるのかな、と。例えば、今言ったように人口減という問題ですね、ただ、沖縄は人口増ですよね。たしか、140万までいっているので、他府県は人口減です。どういう風にそういう数値から僕らが分析してどういう風に手立てをしていくかという所を一つ参考にして頂きたい。

先ほどのプレゼンにもあったんですが昨年中学校、我那霸先生から提案がありまして、JOC のメンバーと高校の国体選手候補選手と練習会ができないかということで、中学校と高校の合同練習会を行いました。先ほど画像にもありましたように中高計 40 名ぐらいで練習した様子です。実際やったんですけど高校の方は非常に効果があつて良かったんじゃないかなと思っています。

#### ◆ 【意見交換】

○教員の中にハンドボールの教員が増えた。採用試験、高校の場合今年バレーは 2 人。  
小学校でバレーしていたのに中学校行ったら指導者がいない。その子達がハンドボールに行っている。

○中学校の大会ですごい勉強になった。

大阪行ったとき、私学高校の先生方からトップ選手が大会会場入り口でスカウティングされている。そのぐらい高校の私学っていうのは大変なものを持っている。沖縄県は県立私学のバレーボールはありませんので県立で、できるのは何からっていうのは小、中、高で連携を持ちながら地域で頑張る。ことが一つ。

あと一つはですね、お互いかしこい選手を作らんといけないんじゃないかな。技だけじゃなくて駆け引きとかそういう部分はどうだろうかということですよ。相手がフェイントしてくるならフェイントでやり返すとか相手がコース打ちしてくるならコースに入るとかですね。ただ、単にバレーをするんじゃなくて相手の監督さんと一緒にになって…駆け引きの勉強をさせてもらいたいなというのがありますね。ということで、ちょっと気になったとこですね。そして今回この話持ってきたのはやはりどうしても 2020 年までには選手を作ろうという意識がなければ…だめなんですよ。昨日もこのデータを作ったのがたいし、偉いなと思いながらさっきも何名かの先生参加して記念誌をどうのこうの行ってたら大変だよ。っと大変なのは当然わかりますよーと、やるか・やらないかっていうのが問題であってでもそういうことよりも歴史を作るためにはこういう選手強化が大事でありますのでということで今日は…

○僕はかたい話になって静かになるとちょっと怖いですね。いつかこれを…にですね、小学校の先生方も中学校、高校、一般も一緒になって僕も一緒に飲みますんで飲み会をもっていただいて交流をとばして頂ければいいなと、当然その会議を持った後に副協会長考て、もっともっと交流ができる、こうゆう風に話せると良いんじゃないかなと。今日もせっかく一緒に来て議題を一緒に作って頂いたんです。テーブル上の紙にならない様にもうちょっとこう合って話せるかなーと思うんですけど。小学校の内容、中学校の内容も一緒に。ただ感じるのは、小学校から中学校へ送る、から高校へ送るという時の具合ですね。今、本音を言うと、バスケットがね凄いことになっているんですよ。人口が減っているというのと、沖縄県がかてないという事です。その理由がほとんど県外に中学校トップスターが取られていて、沖縄にいないそうです。かつては全国、最初の制覇はバスケットからだらうという

くらい強かったんですね。小・中・高全部。そういう状況になつたら考える事はない。今こそ連携して手を取つて頂きたいということのお願いできました。

○小・中の連携についてやって、直に高校・一般と連携がどうなつてゐるか。この中に気になつたのが指導者です。少なくなつていますよね。

本土と違うのですが、沖縄県の場合には、教員が半：半いたような気がするんですが、教員が3：7ぐらいになつてないかなと思う。少なくなつてくると、行政にいった場合には名前を出すなつていうぐらい規正されているのか分からぬですが、教頭・校長・会長になるためには、やるなみみたいのがあって少なくなつてきている気がする。

→理由は何にする？

ある学校では、バレー、ボーラーの指導やつてゐるが、部活動やるなつて言つてゐる。けど、内緒でやつてゐるとかがあるらしい。

で、教員が少なくなつてゐる。ほとんど民間です。そこで問題がある。中学校の学力向上宣伝があるんですが、(4) の…小学校のスポーツ少年団の心得についてあるんですけど、平日の練習は2時間以内とする。これはOKです。児童は午後6時半までに完全下校。これができないんです。さつき言ったように民間でやつていると、仕事が6時までなんですよ。どんなに早く学校行つても6時20～30分、その間子供達父兄が来て、アップして準備して我々が指導できるのは6時40分から。で、7時50分までには終わらないと一般が入つてくるのでその間でやるわけです。本当にできるところは、火・木、僕らのときは一週間の内一日だけでも良いんで。あと、土・日もやつてゐるんですけど、土・日いずれかは駄目だとかで、練習時間で少なくなるし、逆に言えば多いチームの方が強くなるんです。どうしても、小学校も、基礎体力とか、基礎をたくさん練習させるためにかぎられた1時間何分の間では前後にストレッチがだいたい20分それぐらい掛かりますので、クールダウンもあわせてそうなると中身の濃いものしなきやいかんなーとか考えながらやるもの、これを6時半までにやれってでしたら民間のチームは100パーセントつぶれます。これが一番の問題。新しい校長に赴任されたとき、前の校長にも赴任されてきたときにですね、豊見城小学校はスポーツ育成指導者連絡会ているのを私が発案して、PTAの副会長やつてゐるときに、学校も係わりましょうよ、どちらんと意見聞きましょうよ。と、学校も言つたいことあるだろうし、我々もあるからということで毎年開いてゐるんですね。そのときに、赴任された校長先生は必ず「6時半までに終わってくれませんか？」と言います。「6時半までに終わるのは良いけど、それは教員の方が4時半～6時半まで見てもらえますか？」と言うと、「それはできません」という条件なんですよ。「だったらこのチームはどうするんですか？」と「道具も全部学校に寄贈しますよ。つみかさねたやつについてもやりますけど」って言つたんですけど、あっちが引いて6時～8時までにて事については黙認という格好をとつてゐます。今言つたようにチーム数の減少が拡大するだらうなと懸念されることも大きな問題だと、

それから学力低下って言ってるんですけど、バレー、ボーラー、やっている子供って頭良いんですよ、本当に。うちの子なんかでも通信簿とかありますよね、必ず見せることになってて、オール◎の子とか、○が三つであとは◎とか、△が有る子っていうのは29名中1名なんですよ。それも一個。そういう指導しているので、我々の子供としてムルユーディキヤーなのに部活のせいだろう。と。そういうのを今回のアンケートで成績について聞くと、良いのよ、本当に。

それから、家庭の日は豊見城含めてほとんど第三日曜日は部活停止になりました。

→なかなか家庭があんまり良くない子もいらっしゃいますよね。

→居場所を作らないといけないケースもあるんじゃないかな。

父兄から言われたのが「我々の家庭の日って第三日曜日、一緒にバレーをしながら親も水納見に来て一緒に応援しながら練習しますよね。」例えば、練習試合でも皆見に来るんですよ。「こういうのが家庭の日じゃないんですか」というのが母親、父親の話なんですよ。逆に家庭の日作って何が起こってますかって意見徵収したら子供どうしでウイングシティに遊びに行くとか映画見に行くとか、親子じゃないという現状。

中学校にあがって、1300名がチームに入って、試合に出られない。身長が低いということで、一昨年の佐賀大会に行ったセッターはテニスに行きました。去年全国大会行ったライトエースはハンドボールにいってるんですよ。結局そこで自分はそのチームでは通用しないと本人が分かってるんですよ。身長が低いから、小学校のネットが2mだから通用していたものが15cm上がったら通用しない。レシーバーとかに変わり、「自分ずっと控えだから、し合い出れないから、監督他の部活行っていいですか。」と確認しにくるから、NOとは言えないですから、「いいよ、好きなようにやりなさい。でも、スポーツはやめるなよ」といったら、ハンドに行くんです。

それと、もう一つ、ハンドボールクラブが新しく増え、それと反対にバスケットが潰れていったり、人数が少ないし、学年がバラバラというチームが増えている。

○私、去年、一昨年、教育長に頼まれて、教育界(?)に行ったんですよ。教育長の考えここに書いてあるんですけど、あれは一回押しきられたんだろうなと、教育長の今の考えは何かっていいたら、スポーツして学力低下ということはまったくそんなことないと思う。7割の校長たちがこの部活動を邪魔してるという判断がみえたと、それについて成功した例を話してほしい。との事で頼まれ指定された教育界(?)に行きました。今先生方が行っている意見を言いましたよ。高校推薦入学できた生徒をみるとキャプテンやエースなどいろんなスポーツのがトップがいるだろうと。子供のころに自分のやりたいスポーツをやめて勉強しなさい。と行った子は中学校などでおかしくなってる。最大な理由は家庭的な理由でしたけど。今言って頂いた、制式がこうだとだすこと、こっちは文武両道。でも、親は違う。勉強ということ。されているかと聞くと、させてはいない。このことに教育長も懸念して、

心配している。

あと、一つの疑問。指導者が少ないと聞いたもんですから。スポーツ指導員はバレーが一番多い。150～300名は登録しています。ですがバレーは協会から1人しか推薦できない。校長推薦。これはおかしい。こういう指導員が多いけど、中学・高校いったら、校長に…それとも学校自体がこれは駄目だ！と言っているのかどうか。教育長に提案したのは、こういうことでしたら、資格指導員に外部コーチを許可してください。そしたら、体罰、暴力問題がおこらないんじゃないか、と。中学校がどう吹き抜けていくかどうかを、解決していきたい。それによって一般ができると思う。

○本音を言えば、ボイコットしてみようかなと思うくらい、一齊にこういう話をしたら、分かりました。と、皆部活をやめましょう。と、ゆとり教育と、一緒だと思う。しばらくこんなことをやれば、やっぱり部活が重要だと皆分かってくれるとは思うんですよ。一齊にしばらくやめて、親からさせてくれというような動きが出て、「いや、教育長から駄目と言われています。」で、教育委員会がうごいて、教育長に働いてくれて、という流れを持って行かないと駄目なレベルに来るんじゃないかなと。

→我々は、ボランティアで、一生懸命やるもんだから、勇気がないわけですね子供たちが。やめようという勇気が。

→本当に一齊にやった時大変な事になりますよ。

それぐらいの覚悟は。

…のように部活動が盛んで50パーセント近く加入しているんですけど、校長、教頭は、強制派なんで、上から北面のは許可ねんです。職員会議しても担当を読んで、担当とやる。なぜ、そんなことを言われているかが分からない。

→校長達は、皆分かっている。部活生が皆テストで、20位内に入っているし、優秀だって分かるし、じゃあ、そうじゃない部分がどっかにあるんですか？って。僕らもわからない。検討委員会っていうのが、なぜ、新聞報道で部活動がどうのこうのってでてくるのか。今、実際言われているのも、運動と学力というのも平行ではなんですけども相乗効果があって、運動しているほうが、絶対学力も高い。それも皆分かっているのに、なぜ、そういう風に規正かけるのかが分からない。だから、小学校の先生がよく言うんですけども、部活動はそんなに悪なのか。って言うんだけども忙しいのを良いわけにしているような所もあるし、身近に部活があるから、生徒と一緒にだと思うんですよね。「あんた何で、成績落ちてるけど」「最近部活動がいそがしくて」でも実際は携帯いじっているかもしれない。だから、そういう細かい所、データに示さないと、部活動の顧問であったり、データを持ってこないと、感覚だけで、こうやって言われると困るんです。お互いもそう。じゃあ、席次100番集めて、学力調査とって、上位は部活動員な何パーセントいるんだ、ってやったら、80%以上間違いないなく、部活動員がしめると思うんですよ。そういうデータを揃えて、これだけの効果があ

りますよって事を言わないと、根拠がなくてただ言っているのか何なのか。だからそこらへんどんな効果があつてどんなレベルとか。なぜかっていうのをやっぱり分からぬといけないんじゃないかな。

→高校では、あまりそういう話出てこないよね。

今から間違ひなく厳しくなっていくので、その方向に行く前にもっと良さというのをアピールしていかないといけないし、その良さを分かっているはずですが、なぜ、そんな事を言われているかっていう所がよく分からない。

→まあ、先生がおっしゃるとおりの事を、我々小連が、我々のチームの練習時間の実態とかを知らないんですよ。実際には。だから、それをまた違う。と、今言った学力問題含めてね、違うと。今言ったようにデータが無いと反応ができないということでやろうと思っているんですけどね。

もう一つは、中学校と違うのは、例えば小学の話なんですが、琉球舞踊させたい、ピアノさせたいという云々は親の範囲。親ばっかり言って頭にくる。

#### ○高校での問題

テスト休みってので、部活は休みなのに、アルバイト生はどうなんだというで問題になっている。アルバイト生がやっぱり事件・事故・たばこ・深夜徘徊。中部地区の高校では、親では駄目だからと、その店の店長、経営者と学校側が結んで、時間内に帰したりして深夜徘徊が減るとしている。今、一貫指導システムの話なんですが、現状の厳しさを今お伝えしているから、いつかは全競技、高体連・中体連に加盟している団体が集まってこれをやらないと！ →個々の集まりじゃ駄目。まとまって力出さないと。

○これまでの経験から少し紹介して…保護者との対応…今の部活動の時間徹底的に切り上げる。なんのために。学力向上っていうのを出しているんですけど、私は、別の団体、我々の中心であるスポーツ関係者がら出ているんじゃないかなと宇良を考えています。このように徹底して時間を聞けばですね、誰が得をして、誰が損をするかです。その時に我々の損のする方の種目になりますね。体育感で小学校はバレーとバスケットがあります。練習の時間を制限されたらどちらに被害を多くかけると思いますか？→バレー経験者だから分かると思うんですけど、バスケットの方が小学校の場合、より、子供達にしごきの面を無くしてゲームをやって時間を計ってタイムで練習が終わる。バレーは体育館の外から見ると、しごきに見える場面が多いらしいです。レシーブかためるために少しノックりますよね。あのノックは子供にしてみればアンダーで構えてるとき、顔で当たったりするの外からみると、これがもっとスピードがでたら…と怖いらしい

小学校の野球とサッカーでもノックする、拾ってファーストにきれいに投げきれるか、野球ははつきりするわけですよ、それにたいして子供達は怒られるのが怖いわけですから、どっちでもいいからスポーツ行きなさいって言ったらたいていの男の子はサッカーに行きます。

でも、親はまちがつたら一億円が入るかもしれませんから、親は男の子ならまず野球だろ、一生懸命しごいて鍛えてください。と、ここにしごくの部分が出てきてるようですね。ですから、競技監督として、県民大会の時も、常に種目は陸上競技から始まって次にバレーボールですよ、皆さん気づきません？バスケットはその後。

今、我々がマイナーと言っていたあの種目の人たちからすれば今威張っている、バレー・バスケット・陸上は非常に短期的に練習で効果でるもの、長距離なんかは、時間かけなければできないっすよ。だからこれで圧縮されて、いわゆる今までマイナーと言われてたグループに選手が散ってくれるだろうと！私はこれにそういうけつろん、画策があるんじゃないかなーと、それで、これが通り過ぎた後、我々バレー界の方も壊滅するんじゃないかと気がしますね。レシーブができないと、当然厳しいですよね。どうしても練習時間を確保したい。これが少し裏に有るんじゃないかなと少し感じています。

豊見城市からは市長が私に話がある、とバレーを今度は高校が受け止める場所を作つてほしいと言うことで来たんですよ。→我々が嘆願しました。

そしたら豊見城市内の高校にここを拠点にして、名護側から那覇には行かせないぐらい頑張りたいという話。だから、こういうことであれば、これが生きてくるんです。西原町教育委員会が、「いや、うちはこれだ」と言って頂ければこれは皆さんのが苦しめられにですよ。今、こっちもどっちもで、どっちをとるか。

○中城の教え子が中城中に行こうとした、校区だから、ところが、指導者がいないと、すると、西原中に先生がいるとのことで、影響して西原中にいっぱい行ったり、古堅南で教えた子供達は、古堅中に行くんですが、そこの先生が補充だと。来年いるかも分からぬ。嘉手納にいた先生が来てくれるとのことでしたが、地元の中學に指導者がいなくて地元の中學にいけなくて、ほかの中學にそれか、九州の中學に勧誘されていく子もいる。

中学校にいる間は校区だからと、我慢して高校は西原やコザ高など指導者がいるところに行っちゃうという子が多く、地元を離れる子が多い。中学の父兄からも相談されても中学は市長からもまだ言えない、高校には相談ができるから、この子達を逃がさないように、高校には指導者が来るよー、と声をかけて地元を離れさせないように言っている。

→九州の行ったりする子には、その子の将来を考えると何も言えないが、マスコミに言っていることが一つ。県外の高校に行って活躍している連中の名前を挙げるのは何事か！と。全日本になるなら皆でお祝いしましょう。と。沖縄で頑張っている子供達をもっと取材をして、沖縄で国体など頑張っている子たちが大事なんじゃないか。と言ったらマスコミがはっとした。だけど、言いたいことはわかる。だけど、地域ってことが大事。

中学側に聞くと地域に指導者がいないと言ったとき、外部コーチとかが来て、その地域が本当にバレーを盛んにできるのか。高校も一緒。先生が移るたびに強くなったり、弱くなったりして、強豪が一気に消えたりする。だから、一貫指導システムが作れない苦しみじゃない

ですか。地域で考えるのか、指導者として考えるのか。

○豊見市のスポーツ指導者の資格持っている人の一覧を見せてもらつたら一番バレーが多かった。だけど、指導者にまわっていない。それはなぜか？

→スポーツはやるもんであって、見るもんではないと思っているのか？

○クラブチームはどうなのか？中体連はクラブチームはいなかった。だから、簡単にはスポーツ保健にいれさせない。自分の手はなれてしまうから。野球やサッカーでは学校から離れて、いろんなチームがあつて学校単位では指導しない大会がある。だから外部コーチが来ても簡単に面倒見れるわけではなく、かならず顧問がつかないといけない部分が有るという現状。野球のように、ポニーなどを作つて学校からはなれるかどうか。

小学校は学校の部活ではありません。バレーを始めたとき、そのときの教務主任に言われたんですけども、バレーは、社会体育なので、学校体育の6時まで、体育館を使わないでと言われ、6時から練習始めている。中学とはちがく、ポニーなど、完全にクラブチームと同じなのでどつからでも入れる。

○→バスケットは地学、協会主催で、小学校の部活。

九州各県でクラブに入っている小学校がない。少年ではなくて。小学校バレーに出ているチームが、少年団に出ていない。スポーツ少年団の大会は各県でちがく、沖縄で県大会をもつて、派遣させようとするが、福岡などはちがう。その各県が出てないというわけで、女の子は登録して出ていて、チームが各県にあると。男の子はされていないもんだから、はじかれてチーム数がすくない。

○U14という大会をもつて、新しいものを生み出すより、もともとある既存のものを充実させることはできないですか。

→U14は小連はあまり、係わっていない

→中学生中心でやつているもの→別に小学生中心に替えてやってもいい。

与勝地区の小学校がU14に出たら、中学に繰り上がつた先輩との交流があり、小学生から「楽しかった。」「中学でもバレーを続けたい。」という声が聞こえる。

→メリットがある

中学などから多忙化があるということなので、新たな取り組みより既存のものを充実させる。

○小・中で連携がうまくとれれば、人口も増えたり、言い方向に行くんじゃないかなと。

→でも、自分のチームを持つと、指導者は自分のチームのことしか考える余裕がなく、連携まで考えきれない。

→小学校から中学にあげたいといつても中学に指導者がいないということで、他や遠くにいってしまう。

○そしてそういう連携をして、中学側にメリット、デメリットは何がある。

メリット→U14で、小学6年生がよく中学生と係わっていると、すんなり中学でもバレーを続けてくれる。今までは、小学生が中学生を怖いと言っていたりもした。中学生も少し危機的状況を感じているので、結構声をかけてくれたりしている。でも、男子だからうまくいっているということもある。

デメリット→先生方の作業などが大変。視野を広げることで、今できていることも、手一杯でやりづらくなるんじゃないかな。

高校と一般のように交流などはできないんですか？

→中学生の子達と、国体の選手の方達と合同練習会をして、良い刺激をうけ、楽しかったな過ぎたので、これが小学生との合同練習会ができたら良いな、と。すべてのチームは数が多くて難しいとおもうので、小学選抜だけでも良いと思う。

→アンダーとしての大会は難しいと思う。

各チームでは難しいけど、選抜や候補選手で集まった子たちと、中・高でやったようなイメージで、小・中でやることはどんなですか？

委員会で少し出たのが、前に中・高で春高の同じ会場で、決勝戦やった。あーいう形のものを小・中で大会をかぶらせてできないかなと考えている。

→こうゆう小・中合同練習を実践している所があり、南部地区では2月ごろ小・中同じ会場大会をしている。

地区の話では良い例で、我々は、組織的に中体連でやろうということですか？

→別に県どうしじゃなくても、小・中だったらチーム数も多いので地区でも良いと思う。大事なのは、地区だと思う。地区でどれだけ人間を動かすか。

私としては県協会の指導監異員が一試作としてやっていくのかなーとイメージしていますが？

→立場上は、県としてやる方が一番良いわけですが、まずは男子が上がっているので男子を充実させたらどうかなと。女子はまだ課題がだいぶあるので、県としては難しいんじゃないかなと。

実例があるので、我々で紹介して、市町村の協会にどんどん情報提供して、そこの力も借りたりした方が良いと思う。我々の学校現場だけでは難しい。

一番いい話としては、県として考えると重みを感じるので、そうじゃなくて地区や市分で考えるので良いんじゃないですか。もっと上で、トップでやってみたいというのは委員会で考えて頂ければと。もうやっている地区があるのでまずはやってみる。

小学校の開放があった場合、それをクラブとして、小学校に中学校がくるというのは、貸し出しできるのか？

→貸し出しできない。

借りたり合同する場合は、その場所でやることは時間の問題がある。それを完全に、社会体育として、学校の手を離れてクラブとしてあつかいをして塾行くようなもんですといって本当にできるのかどうか。これができるとなれば学校から離れて、他の保健にはいってやれば親の許可の元実際にできるはずです。そこに学校の教員がつくかどうか。

→だけど、職員としてではなく、地域のスポーツ指導員として、地域活動としてだとできると思う。

○西原の場合は毎週水曜日、西原町民体育館を西原町バレーボール協会が借りて、小・中・高合同でやっている。男子だけだったのが今は女子も始め、各週男女交互にやっている。20年ぐらい続いている。

西原バレーボール祭りがあり、小学部門・中学部門・高校部門カテゴリー別にやっている。

一昨年からは、男子だけ、女子だけと日にちをかえた。

→市でできるし、工夫もできる。

○まとめ

結論は出ないですけど、それぞれの社会体育部分と学校教育の部分で扱い方が違うという面もありますが、指導者の工夫で市町村単位でやれば良いようになるんじゃないかなと思います。

# 本県過去10年間の推移

バレー ボール 人口 (チーム及び選手数)

調査方法

小学校

- ・全日本バレー ボール 小学生 大会 報告 書
- ・全日本バレー ボール 小学生 実行 委員 会

中学校

- ・全国 中体連 HP より

高 校

- ・全国 高等学校 体育 連盟 HP より
- ・沖縄 県 高等学校 体育 連盟

OVA

沖縄 県 バレー ボール 協会 指導 普及 強化 委員 会

沖縄県バレー ボール(小学校)  
男女選手数

| 列1 | H14   | H15 | H16   | H17   | H18 | H19 | H20 | H21 | H22   | H23   | H24  | H25  |
|----|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|------|------|
| 男子 | 323   | 312 | 277   | 277   | 217 | 117 | 172 | 170 | 295   | 345   | 488  | 437  |
| 女子 | 1,009 | 728 | 1,017 | 1,017 | 866 | 559 | 755 | 850 | 1,296 | 1,904 | 2290 | 2202 |

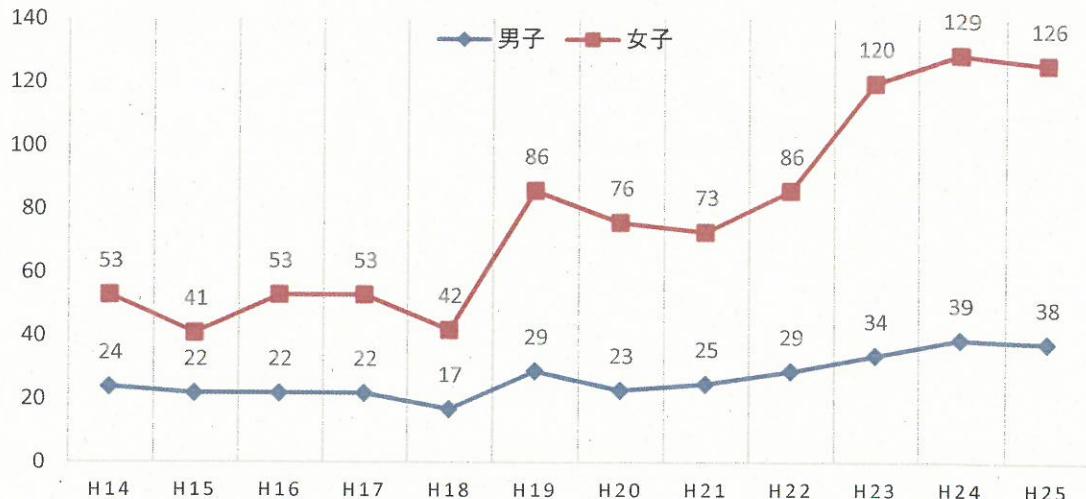
小学生選手数



男女チーム数

| 列1 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男子 | 24  | 22  | 22  | 22  | 17  | 29  | 23  | 25  | 29  | 34  | 39  | 38  |
| 女子 | 53  | 41  | 53  | 53  | 42  | 86  | 76  | 73  | 86  | 120 | 129 | 126 |

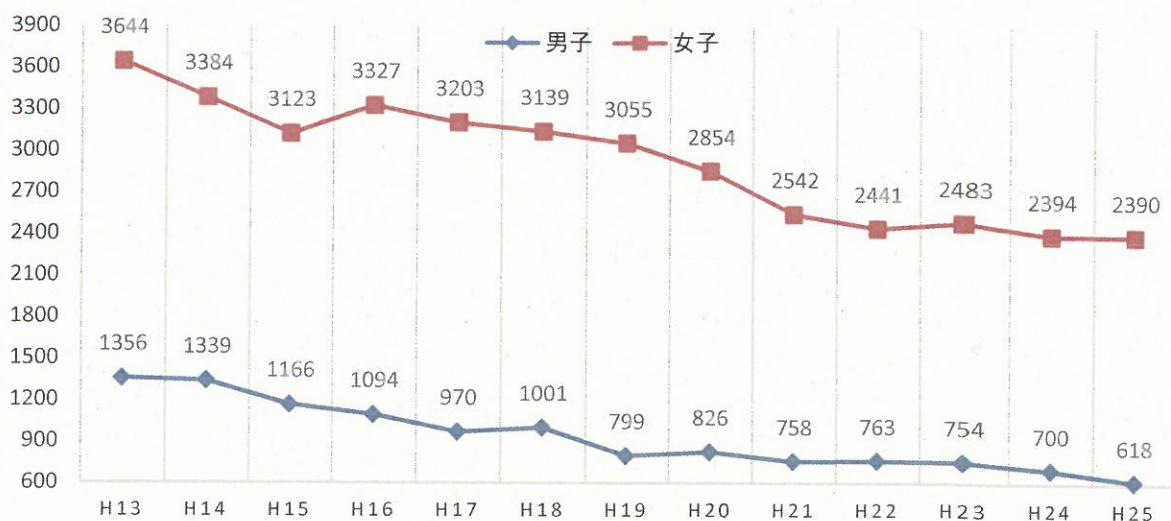
小学校チーム数



沖縄県バレー ボール(中学校)  
男女選手数

| 列1 | H13  | H14  | H15  | H16  | H17  | H18  | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25  |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 男子 | 1356 | 1339 | 1166 | 1094 | 970  | 1001 | 799  | 826  | 758  | 763  | 754  | 700  | 618  |
| 女子 | 3644 | 3384 | 3123 | 3327 | 3203 | 3139 | 3055 | 2854 | 2542 | 2441 | 2483 | 2394 | 2390 |

中学生選手数



男女チーム数

| 列1 | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男子 | 81  | 72  | 70  | 68  | 63  | 66  | 60  | 66  | 60  | 61  | 65  | 53  | 48  |
| 女子 | 107 | 115 | 113 | 107 | 108 | 105 | 109 | 110 | 108 | 107 | 100 | 101 | 104 |

中学生チーム数



沖縄県バレーボール(高校)  
男女選手数

| 列1 | H14  | H15  | H16  | H17  | H18  | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25 |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 男子 | 982  | 976  | 1022 | 1016 | 930  | 813  | 749  | 832  | 780  | 688  | 685  | 565 |
| 女子 | 1591 | 1410 | 1426 | 1456 | 1390 | 1309 | 1187 | 1284 | 1192 | 1119 | 1085 | 950 |

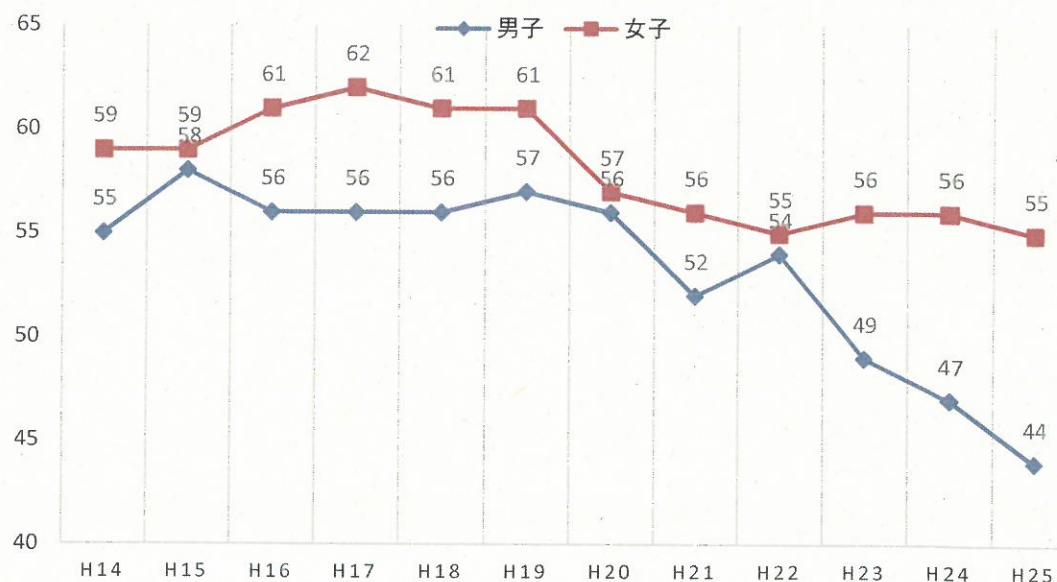
高校選手数



男女チーム数

| 列1 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男子 | 55  | 58  | 56  | 56  | 56  | 57  | 56  | 52  | 54  | 49  | 47  | 44  |
| 女子 | 59  | 59  | 61  | 62  | 61  | 61  | 57  | 56  | 55  | 56  | 56  | 55  |

高校チーム数

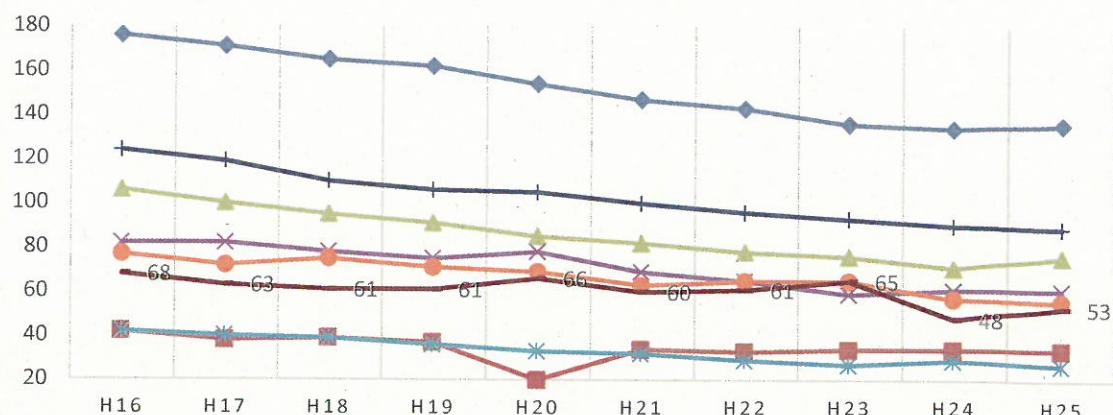


### 県別中学校男子チーム数【九州地区】

| 列1   | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 福岡県  | 176 | 171 | 165 | 162 | 154 | 147 | 143 | 136 | 134 | 136 |
| 佐賀県  | 42  | 38  | 39  | 37  | 20  | 34  | 33  | 34  | 34  | 34  |
| 長崎県  | 106 | 100 | 95  | 91  | 85  | 82  | 78  | 76  | 71  | 76  |
| 熊本県  | 82  | 82  | 78  | 75  | 78  | 69  | 65  | 59  | 61  | 61  |
| 大分県  | 42  | 40  | 39  | 36  | 33  | 32  | 29  | 27  | 29  | 27  |
| 宮崎県  | 77  | 72  | 75  | 71  | 69  | 63  | 65  | 65  | 57  | 56  |
| 鹿児島県 | 124 | 119 | 110 | 106 | 105 | 100 | 96  | 93  | 90  | 89  |
| 沖縄県  | 68  | 63  | 61  | 61  | 66  | 60  | 61  | 65  | 48  | 53  |

### 県別中学校男子チーム【九州地区】

◆ 福岡県 ■ 佐賀県 ▲ 長崎県 × 熊本県  
 ✪ 大分県 ● 宮崎県 ━ 鹿児島県 — 沖縄県

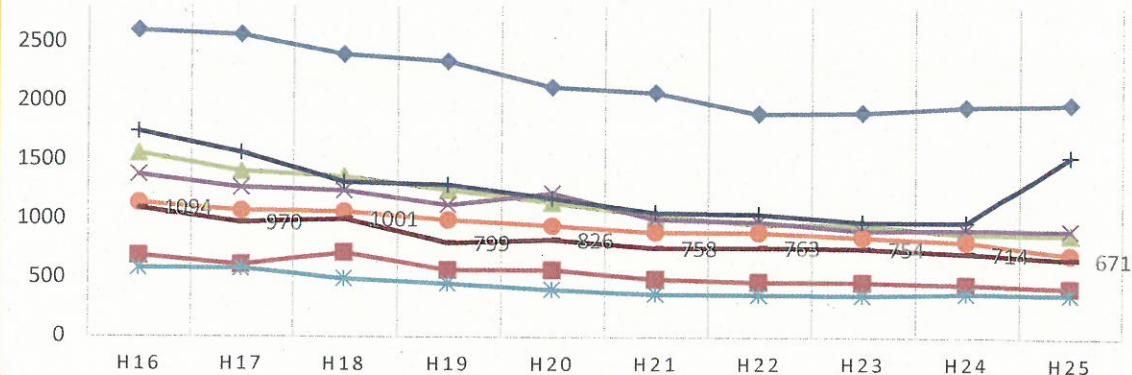


### 県別中学校男子選手数【九州地区】

| 列1   | H16  | H17  | H18  | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25  |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 福岡県  | 2600 | 2563 | 2395 | 2338 | 2120 | 2075 | 1899 | 1910 | 1957 | 1986 |
| 佐賀県  | 691  | 611  | 714  | 568  | 569  | 493  | 472  | 469  | 449  | 427  |
| 長崎県  | 1559 | 1404 | 1360 | 1247 | 1141 | 1029 | 961  | 953  | 876  | 878  |
| 熊本県  | 1378 | 1266 | 1238 | 1120 | 1220 | 1002 | 981  | 907  | 915  | 913  |
| 大分県  | 586  | 580  | 494  | 454  | 402  | 367  | 362  | 357  | 373  | 370  |
| 宮崎県  | 1140 | 1070 | 1062 | 992  | 944  | 891  | 892  | 851  | 813  | 710  |
| 鹿児島県 | 1745 | 1563 | 1314 | 1290 | 1176 | 1057 | 1047 | 980  | 977  | 1540 |
| 沖縄県  | 1094 | 970  | 1001 | 799  | 826  | 758  | 763  | 754  | 714  | 671  |

### 県別中学校男子選手数【九州地区】

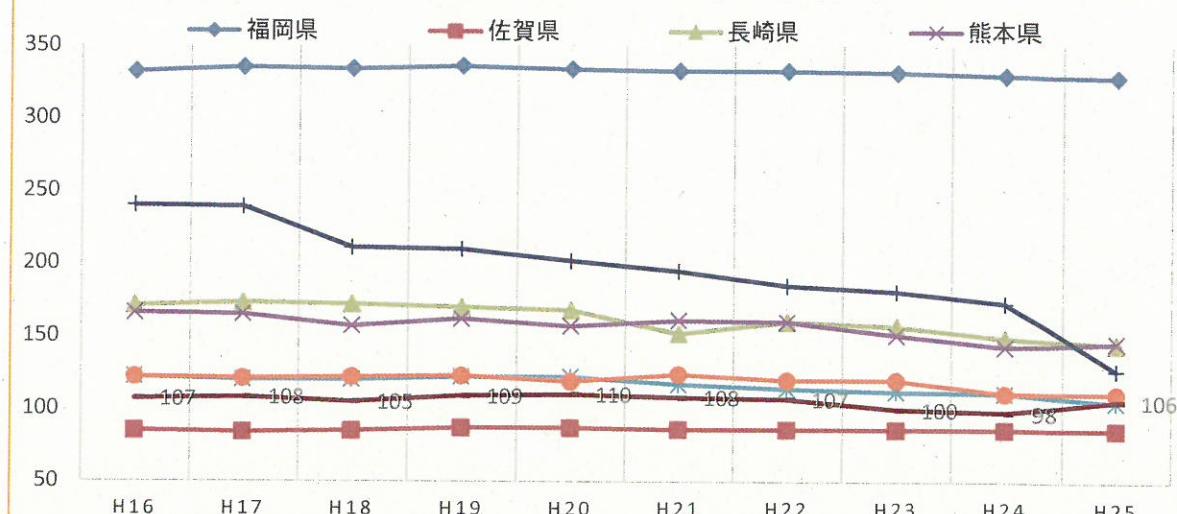
◆ 福岡県 ■ 佐賀県 ▲ 長崎県 × 熊本県  
 ✪ 大分県 ● 宮崎県 ━ 鹿児島県 — 沖縄県



### 県別中学校女子チーム数【九州地区】

| 列1   | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 福岡県  | 332 | 335 | 334 | 336 | 334 | 333 | 333 | 332 | 330 | 329 |
| 佐賀県  | 85  | 84  | 85  | 87  | 87  | 86  | 86  | 86  | 86  | 86  |
| 長崎県  | 171 | 173 | 172 | 170 | 168 | 152 | 160 | 157 | 149 | 145 |
| 熊本県  | 166 | 165 | 157 | 162 | 157 | 161 | 160 | 151 | 143 | 146 |
| 大分県  | 122 | 120 | 120 | 122 | 122 | 117 | 114 | 112 | 111 | 105 |
| 宮崎県  | 122 | 121 | 122 | 123 | 119 | 124 | 120 | 120 | 111 | 111 |
| 鹿児島県 | 240 | 239 | 211 | 210 | 202 | 195 | 185 | 181 | 173 | 127 |
| 沖縄県  | 107 | 108 | 105 | 109 | 110 | 108 | 107 | 100 | 98  | 106 |

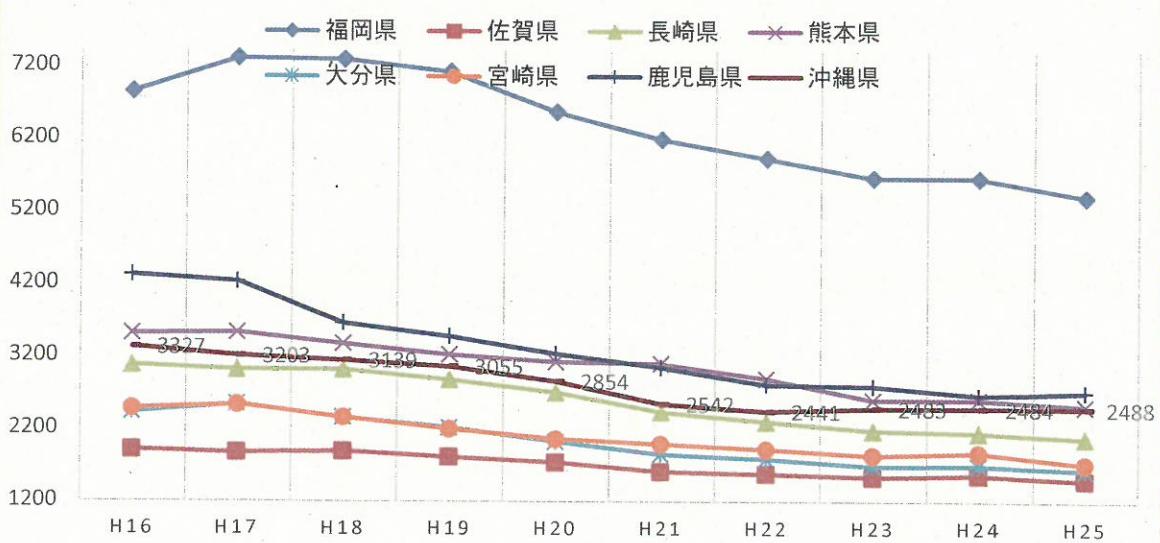
### 県別中学校女子チーム数【九州地区】



### 県別中学校女子選手数【九州地区】

| 列1   | H16  | H17  | H18  | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25  |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 福岡県  | 6844 | 7301 | 7280 | 7110 | 6559 | 6184 | 5923 | 5654 | 5652 | 5399 |
| 佐賀県  | 1909 | 1869 | 1887 | 1811 | 1737 | 1610 | 1580 | 1535 | 1561 | 1497 |
| 長崎県  | 3075 | 3010 | 3012 | 2876 | 2700 | 2434 | 2298 | 2175 | 2145 | 2076 |
| 熊本県  | 3511 | 3523 | 3370 | 3219 | 3120 | 3095 | 2890 | 2594 | 2599 | 2519 |
| 大分県  | 2429 | 2535 | 2354 | 2214 | 2025 | 1851 | 1786 | 1686 | 1693 | 1636 |
| 宮崎県  | 2479 | 2528 | 2356 | 2198 | 2060 | 1990 | 1919 | 1833 | 1871 | 1722 |
| 鹿児島県 | 4320 | 4225 | 3652 | 3472 | 3233 | 3044 | 2808 | 2784 | 2661 | 2711 |
| 沖縄県  | 3327 | 3203 | 3139 | 3055 | 2854 | 2542 | 2441 | 2483 | 2484 | 2488 |

### 県別中学校女子選手数【九州地区】

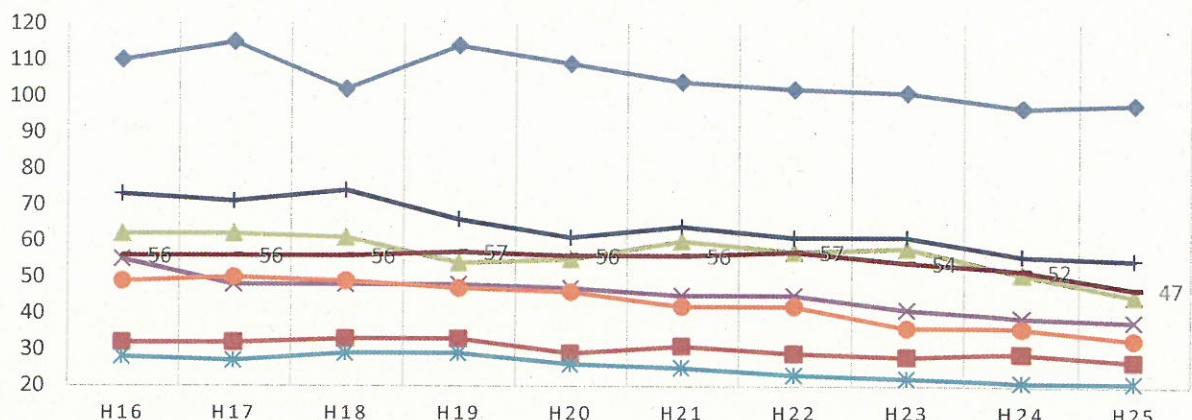


### 県別高校男子チーム数【九州地区】

| 列1   | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 福岡県  | 110 | 115 | 102 | 114 | 109 | 104 | 102 | 101 | 97  | 98  |
| 佐賀県  | 32  | 32  | 33  | 33  | 29  | 31  | 29  | 28  | 29  | 27  |
| 長崎県  | 62  | 62  | 61  | 54  | 55  | 60  | 57  | 58  | 51  | 45  |
| 熊本県  | 55  | 48  | 48  | 48  | 47  | 45  | 45  | 41  | 39  | 38  |
| 大分県  | 28  | 27  | 29  | 29  | 26  | 25  | 23  | 22  | 21  | 21  |
| 宮崎県  | 49  | 50  | 49  | 47  | 46  | 42  | 42  | 36  | 36  | 33  |
| 鹿児島県 | 73  | 71  | 74  | 66  | 61  | 64  | 61  | 61  | 56  | 55  |
| 沖縄県  | 56  | 56  | 56  | 57  | 56  | 56  | 57  | 54  | 52  | 47  |

### 高校男子チーム数【九州地区】

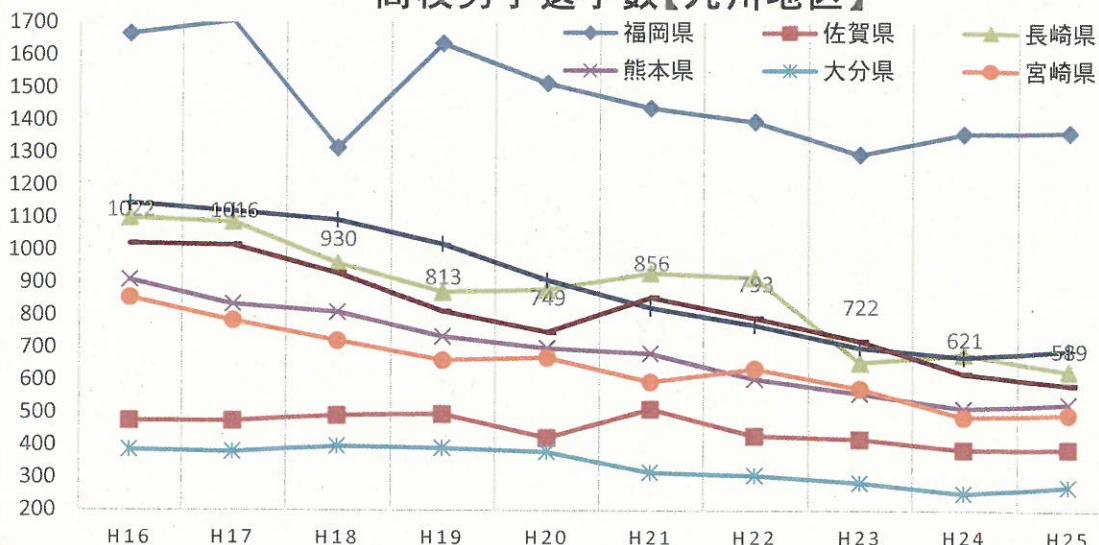
◆ 福岡県 ■ 佐賀県 ▲ 長崎県 × 熊本県  
 ✕ 大分県 ○ 宮崎県 — 鹿児島県 — 沖縄県



### 県別高校男子選手数【九州地区】

| 列1   | H16  | H17  | H18  | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25  |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 福岡県  | 1667 | 1706 | 1315 | 1637 | 1515 | 1439 | 1397 | 1296 | 1360 | 1367 |
| 佐賀県  | 477  | 475  | 492  | 496  | 423  | 512  | 430  | 420  | 387  | 391  |
| 長崎県  | 1101 | 1087 | 960  | 872  | 879  | 931  | 917  | 656  | 681  | 631  |
| 熊本県  | 910  | 834  | 810  | 735  | 699  | 683  | 605  | 561  | 514  | 530  |
| 大分県  | 387  | 380  | 398  | 392  | 380  | 317  | 308  | 286  | 253  | 275  |
| 宮崎県  | 856  | 784  | 722  | 662  | 670  | 596  | 637  | 576  | 487  | 498  |
| 鹿児島県 | 1146 | 1120 | 1094 | 1020 | 909  | 824  | 771  | 702  | 672  | 696  |
| 沖縄県  | 1022 | 1016 | 930  | 813  | 749  | 856  | 793  | 722  | 621  | 589  |

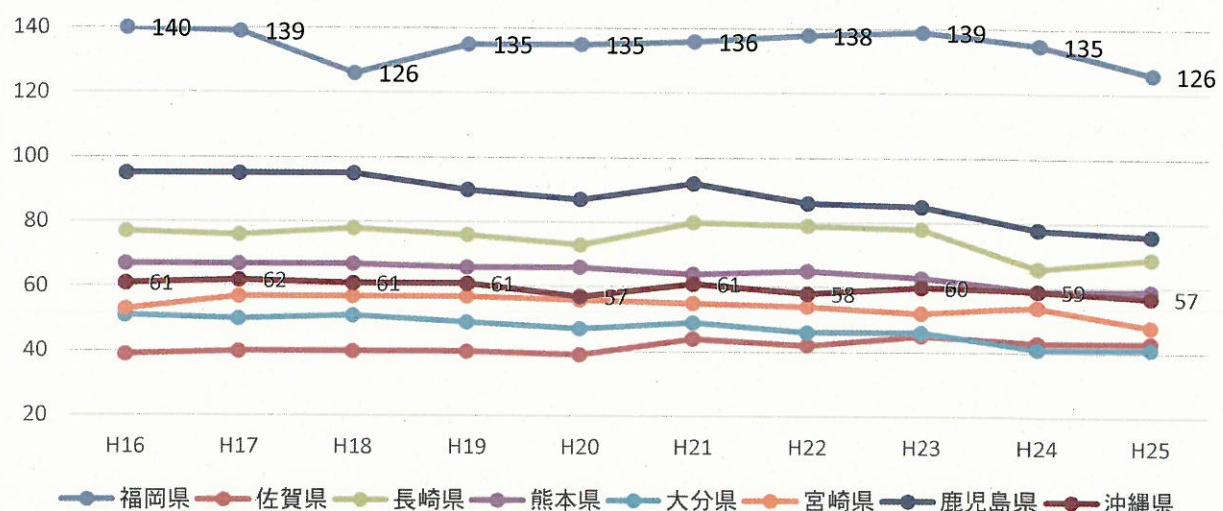
### 高校男子選手数【九州地区】



### 県別高校女子チーム数【九州地区】

| 列1   | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 福岡県  | 140 | 139 | 126 | 135 | 135 | 136 | 138 | 139 | 135 | 126 |
| 佐賀県  | 39  | 40  | 40  | 40  | 39  | 44  | 42  | 45  | 43  | 43  |
| 長崎県  | 77  | 76  | 78  | 76  | 73  | 80  | 79  | 78  | 66  | 69  |
| 熊本県  | 67  | 67  | 67  | 66  | 66  | 64  | 65  | 63  | 59  | 59  |
| 大分県  | 51  | 50  | 51  | 49  | 47  | 49  | 46  | 46  | 41  | 41  |
| 宮崎県  | 53  | 57  | 57  | 57  | 56  | 55  | 54  | 52  | 54  | 48  |
| 鹿児島県 | 95  | 95  | 95  | 90  | 87  | 92  | 86  | 85  | 78  | 76  |
| 沖縄県  | 61  | 62  | 61  | 61  | 57  | 61  | 58  | 60  | 59  | 57  |

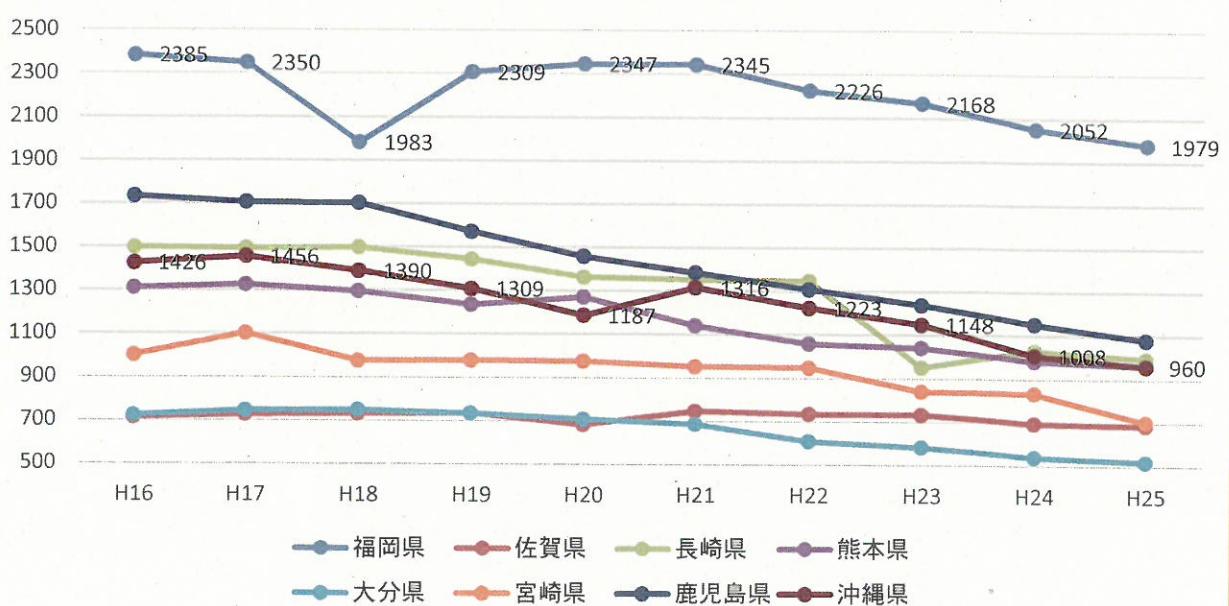
### 高校女子チーム数【九州地区】



### 県別女子選手数【九州地区】

| 列1   | H16  | H17  | H18  | H19  | H20  | H21  | H22  | H23  | H24  | H25  |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 福岡県  | 2385 | 2350 | 1983 | 2309 | 2347 | 2345 | 2226 | 2168 | 2052 | 1979 |
| 佐賀県  | 714  | 727  | 732  | 735  | 682  | 747  | 734  | 732  | 694  | 687  |
| 長崎県  | 1498 | 1493 | 1499 | 1445 | 1364 | 1354 | 1348 | 950  | 1029 | 994  |
| 熊本県  | 1311 | 1325 | 1296 | 1236 | 1271 | 1141 | 1058 | 1040 | 983  | 962  |
| 大分県  | 723  | 745  | 749  | 734  | 708  | 687  | 608  | 582  | 539  | 519  |
| 宮崎県  | 1001 | 1102 | 976  | 979  | 975  | 952  | 948  | 839  | 833  | 702  |
| 鹿児島県 | 1734 | 1706 | 1703 | 1572 | 1459 | 1385 | 1309 | 1238 | 1153 | 1081 |
| 沖縄県  | 1426 | 1456 | 1390 | 1309 | 1187 | 1316 | 1223 | 1148 | 1008 | 960  |

### 高校女子選手数【九州地区】

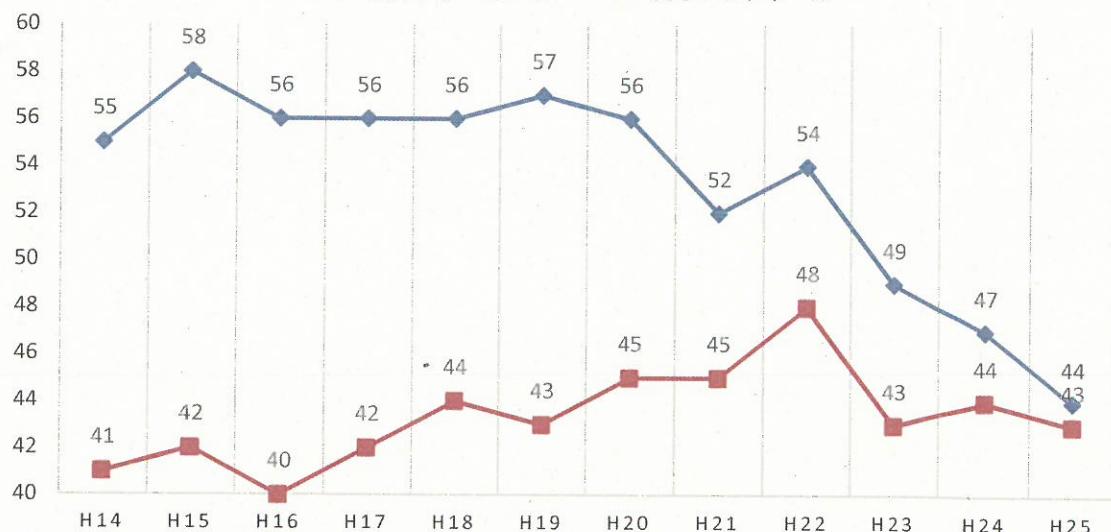


種目(バレー・ボールとハンドボール)の比較データ  
チーム数

| 列1        | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男子バレー・ボール | 55  | 58  | 56  | 56  | 56  | 57  | 56  | 52  | 54  | 49  | 47  | 44  |
| 男子ハンドボール  | 41  | 42  | 40  | 42  | 44  | 43  | 45  | 45  | 48  | 43  | 44  | 43  |

種目別チーム数の比較(高校)

—◆— 男子バレー・ボール —■— 男子ハンドボール

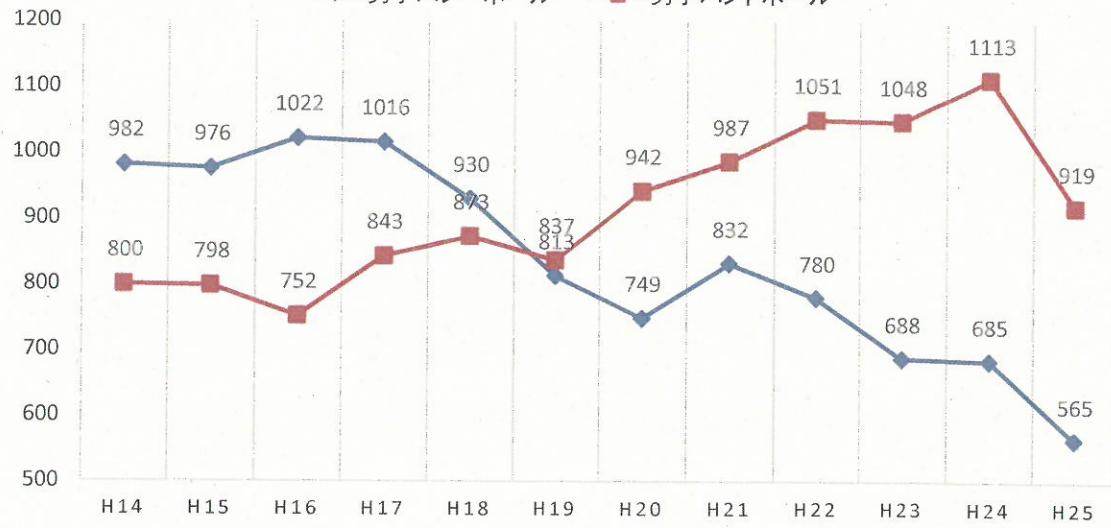


選手数

| 列1        | H14 | H15 | H16  | H17  | H18 | H19 | H20 | H21 | H22  | H23  | H24  | H25 |
|-----------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|
| 男子バレー・ボール | 982 | 976 | 1022 | 1016 | 930 | 813 | 749 | 832 | 780  | 688  | 685  | 565 |
| 男子ハンドボール  | 800 | 798 | 752  | 843  | 873 | 837 | 942 | 987 | 1051 | 1048 | 1113 | 919 |

種目別選手数の比較(高校)

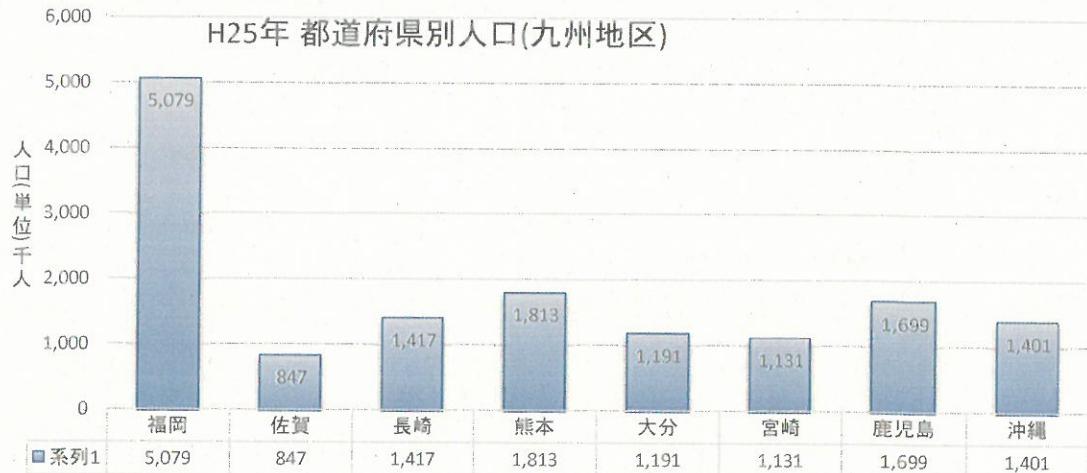
—◆— 男子バレー・ボール —■— 男子ハンドボール



都道府県別人口（平成2年～平成23年）  
(単位 人口 1,000)

| 都道府県 | 平成2年人口<br>1990 | 7年人口<br>1995 | 12年人口<br>2000 | 17年人口<br>2005 | 22年   |                               |                                | 23年人口<br>2011 |
|------|----------------|--------------|---------------|---------------|-------|-------------------------------|--------------------------------|---------------|
|      |                |              |               |               | 人口    | 2010<br>平成17～22<br>年人口増減<br>率 | 人口密度<br>(人 / km <sup>2</sup> ) |               |
| 福岡   | 4,811          | 4,933        | 5,016         | 5,050         | 5,072 | 0.4                           | 1,019.0                        | 5,079         |
| 佐賀   | 878            | 884          | 877           | 866           | 850   | -1.9                          | 348.3                          | 847           |
| 長崎   | 1,563          | 1,545        | 1,517         | 1,479         | 1,427 | -3.5                          | 347.5                          | 1,417         |
| 熊本   | 1,840          | 1,860        | 1,859         | 1,842         | 1,817 | -1.3                          | 245.4                          | 1,813         |
| 大分   | 1,237          | 1,231        | 1,221         | 1,210         | 1,197 | -1.1                          | 188.7                          | 1,191         |
| 宮崎   | 1,169          | 1,176        | 1,170         | 1,153         | 1,135 | -1.5                          | 146.7                          | 1,131         |
| 鹿児島  | 1,798          | 1,794        | 1,786         | 1,753         | 1,706 | -2.7                          | 185.7                          | 1,699         |
| 沖縄   | 1,222          | 1,273        | 1,318         | 1,362         | 1,393 | 2.3                           | 611.9                          | 1,401         |

平成25年の九州地区の人口



年度別の九地地区の人口 (単位 人口 1,000)

| 列1  | H2    | H7    | H12   | H17   | H22   | H23   |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 福岡  | 4,811 | 4,933 | 5,016 | 5,050 | 5,072 | 5,079 |
| 佐賀  | 878   | 884   | 877   | 866   | 850   | 847   |
| 長崎  | 1,563 | 1,545 | 1,517 | 1,479 | 1,427 | 1,417 |
| 熊本  | 1,840 | 1,860 | 1,859 | 1,842 | 1,817 | 1,813 |
| 大分  | 1,237 | 1,231 | 1,221 | 1,210 | 1,197 | 1,191 |
| 宮崎  | 1,169 | 1,176 | 1,170 | 1,153 | 1,135 | 1,131 |
| 鹿児島 | 1,798 | 1,794 | 1,786 | 1,753 | 1,706 | 1,699 |
| 沖縄  | 1,222 | 1,273 | 1,318 | 1,362 | 1,393 | 1,401 |

九州地区の人口 (但し福岡県を除く)

